

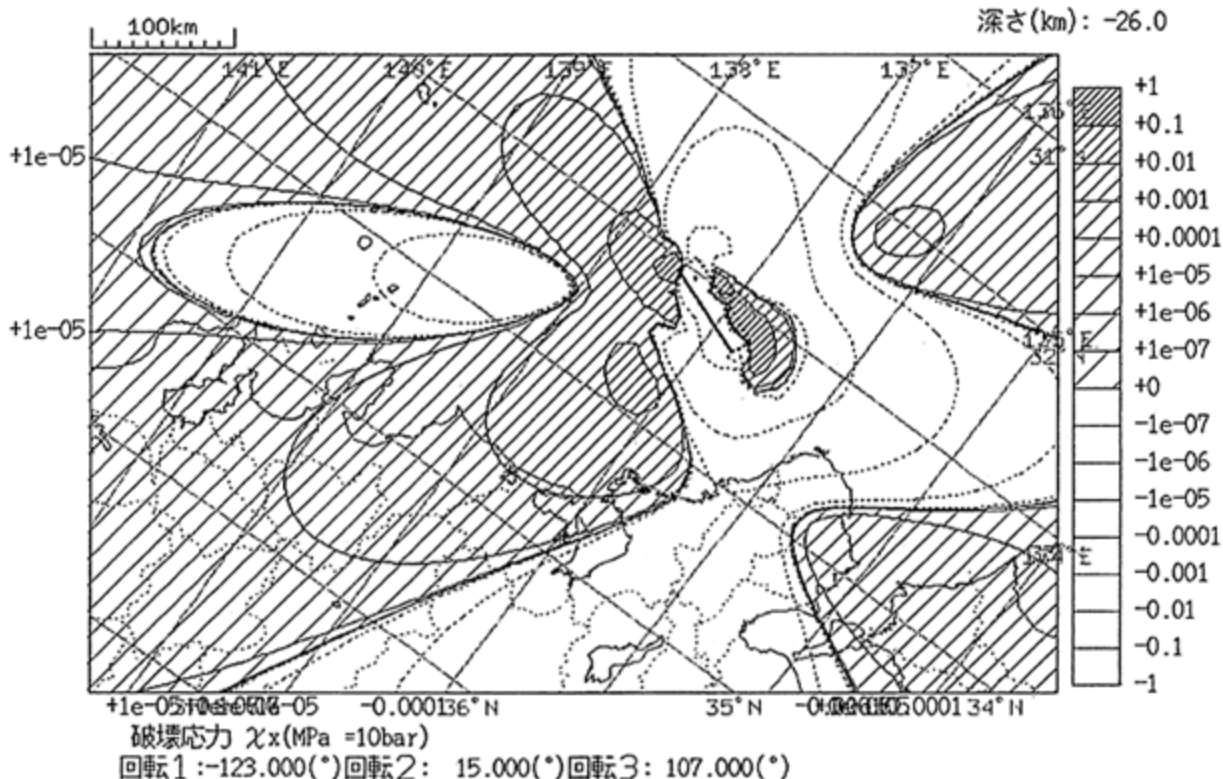
想定される東海地震に対する ΔCFF

想定断層 234 / 15 / 107 (26km)

今回の断層 111 / 63 / 114 (20.7km Mjma 7.4 南下がり)

ΔCFF の計算では、東海地震の想定震源域は今回の地震によって促進させる領域であるがその大きさは概ね 0.01~0.001MPa で、潮汐に比べてオーダーが 1~2 小さい。

(下図は南下がりの節面で計算したモノだが、北下がりでも同様である)



東南海地震 (安藤モデル 240/25/108 20km) は概ね抑制される領域である。

